

未来を担う子どもたちの成長を支え、「社会に開かれた教育課程」を実現するために、北区では、「学校支援ボランティア活動推進事業」として、さまざまな技能や知識を持つ地域の人々が学校と連携・協働し一体となって教育活動を行う活動を進めています。

授業支援

- 校外学習(まち探検等)・社会科見学引率
- ゲストティーチャーの活用
- 授業補助(ミシン指導など)
- 農業体験・昔遊び体験支援 など

学校行事支援

- 運動会・体育祭や入学式・卒業式の準備・片付け等
- 展覧会・音楽会・学芸会等の設営や受付・運営等
- 周年行事のサポート など

安全指導

- 登下校見守り・あいさつ運動
- 学区内パトロール
- 避難訓練のサポート など

環境整備

- 図書ボランティア
- 学級菜園・花壇整備
- 学校および地域の清掃・美化活動 など

部活動・クラブ指導

- スクールバンド・和太鼓支援
- 手芸・パソコン・茶道部支援
- スポーツ活動支援 など

その他 (教育活動支援)

- 放課後補習支援
- 学校教育活動外の諸活動
- 読み聞かせ
- わくわく☆ひろば など

スクールコーディネーターは、◎地域や学校に実情に応じた学校支援ボランティア活動を企画・立案します。その活動の要として、各学校長からの推薦を受けて活動を推進します。



学校支援の輪が地域に広がることで、学校だけでは手の届かなかった、教育活動や環境整備が可能となり、教育の多様化や質の向上を図ることができます。子どもたちの成長には、地域の皆様の**応援力**が不可欠! ぜひ、先生方にもこの**地域力**をうまく活用していただきたいと思ひます!!



北区スクールコーディネーター通信 エール [第6号] JANUARY, 2023

発行：北区スクールコーディネーター連絡協議会
事務局：東京都北区教育委員会 教育振興部
生涯学習・学校地域連携課 (Tel.03-3908-8282)
発行日：令和5年1月15日

◆北区ホームページ
<https://www.city.kita.tokyo.jp/>
学校支援ボランティア活動推進事業▶▶▶



第6号 JANUARY, 2023

北区スクールコーディネーター通信

Let's Try! 一緒につくろう
子どもたちの未来



スクールコーディネーター(地域コーディネーター)は、**地域と学校をつなぐ橋渡し役**です。

◎学校や地域住民、企業・団体等の関係者との連絡・調整 ◎地域ボランティアさんの募集・確保 などを行います。

子どもたちのために地域社会が一体となって

教育長 清正 浩靖

北区スクールコーディネーター連絡協議会の皆様方には、日頃から学校支援ボランティア活動の要として、学校と地域の方々とを結び、北区の教育環境を支えていただいております。本紙面をお借りして深く感謝申し上げます。
少子化や核家族化により、地域におけるつながりが薄れ、子どもの社会性や自立心を育むことが、難しくつつある状況のなかで、地域社会や家庭における「教育力」の向上が求められています。「地域の子は、地域で育てる」という視点に立ち、学校・家庭・地域をはじめとする地域社会が一体となって、相互に連携・協力し、子ども



たちの学びや育ちを支援することが重要です。
コロナ禍において人と人とのつながりがもたれにくい時代だからこそ、地域と学校が連携をより一層深め、子どもたちの学びや体験活動の充実を図ることで、先行き不透明の時代を生き抜く力や、他人を思いやり、地域を愛する心が育まれていきます。子どもたちと地域が交流することで、学校も地域もますます活性化していくことと思います。スクールコーディネーターの皆様、地域の皆様におかれましては、今後ともお力添えのほどよろしくお願いいたします。

Let's 学校支援ボランティア活動

新型コロナの影響による活動停止を乗り越え、北区スクールコーディネーター広報委員会も再開しました。テーマは「これからの新しい時代をつくり、子どもたちの未来につなげる」そんな活動を一部ご紹介します。

- A どういう活動(行事)ですか?
- B 子どもたちの様子は?
- C 関わってみた感想は?
- D 伝えたいことを一言



環境整備

こいのぼり掲揚

西浮間小学校

- A 約40年前から、4~5月、PTA・地域の皆様のご協力で校庭にワイヤーを張り、こいのぼりを掲揚しています。
- B 校庭に泳ぐたくさんのこいのぼりを見上げて嬉しそうです。お楽しみのこいのぼり会食は各教室で全員窓の方を向き、感染対策しました。
- C 見上げるだけで元気がもらえます。卒業しても自慢でき、地域と共有できる行事だと思います。

D 子どもたちの活動にエールを送り、情緒豊かな心を育める季節の行事として次世代に引き継いでいきたいです。



授業支援

ちがいを知る

王子第五小学校

- A 「ちがいを知る」をテーマにした、車いす体験と車いすテニスアスリートによるゲストティチャー授業です。
- B 初めて車いすに触れた子どもも多く、真剣に取り組んでいました。
- C 情報にあふれた現代だからこそ、直接体験することからの気づきが多いように感じました。

校長先生が挑戦!



D 同じ車いすを使用している方でも、どんな手助けが必要かは人それぞれ違う。今回の車いす体験とゲストティチャー授業を通し、相手の立場に立った支援の大切さが伝わったと思います。

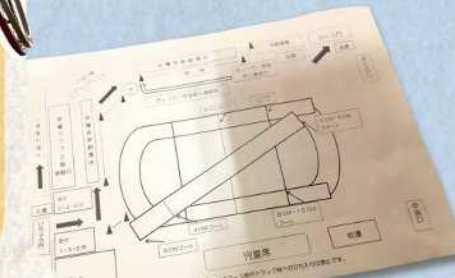


学校行事支援

運動会 ライブ配信

滝野川もみじ小学校

- A 人数制限がある運動会を少しでも多くの方に楽しんでもらうためにYouTubeライブ配信。
- B 練習の成果を田舎の親戚にも見てもらっているとわかると顔つきが変わります。
- C 臨場感が伝わるように。しかしプライバシーも配慮。相反する課題をマルチカメラで見る人が目線を変えて楽しんでもらう手法で配信をしています。準備は大変ですが、多くの「いいね!」が励みです。
- D はやくコロナがなくなりますように...



滝野川地区



その他

生ホタテ販売

浮間中学校

- A 職場体験で繋がりのある青森県 東通村(ひかしどおりむら)との長年続く交流事業の一つです。
- B コロナ禍の間、交流ができていませんでしたが、美味しいホタテを食べると元気をもらったと思います!
- C 卒業生や保護者のボランティアのご協力で行っていますが、今後は流通の勉強を兼ねて、仕入れから発注まで生徒たちと運営できたらと思います。

D 人との繋がりや、交流の大切さを子どもたちに引き継いでいけたらと思います。



自宅で調理して、とても美味しくいただきました。

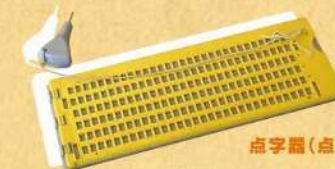


授業支援

共に生きる

堀船小学校

- A 障害のある方について調べる授業として、点訳サークル六星会(ろくせいかい)の方から点字を教わり、社会福祉協議会の方には視覚障害体験をさせてもらいました。
- B 自分とは違う見え方であると知り、自ら助けになるうとしていました。また身近な生活用品にも点字があることや、ユニバーサルデザインの商品に驚いていました。
- C 丁寧で分かりやすい説明に、児童も大変興味を示しました。Webや本ではなく、直接教わったことが良かったです。
- D 直接お話を伺い、何に困っているか理解できました。そしてどのように行動することが大切かを学びました。



点字器(点字と点字板)



授業支援

視覚障害の理解

谷端小学校

- A 社会福祉協議会と連携して、北区在住の盲導犬ユーザーさんによる視覚障害を理解するための授業をお願いしています。
- B 子どもたちはペットと盲導犬の違いを学んだり、障害があっても皆と同じような生活をしてる事に驚いていました。
- C 遠足で偶然お会いした時、「前に来た盲導犬の人だ!」と子どもたちが覚えており、再会を喜んでいた事が嬉しく、改めて身近に生活されてると感じました。

盲導犬のアイクくん(男の子、いつも手作りのお洋服を着せられているよ。)



D 授業を通して、視覚だけでなく聴覚障害や高齢者など、少し困っている人に思いやりやお手伝いができる心が育ってほしいと思います。